



河小だより

校区内
全戸回覧

9月24日発行

バランスよく進めます

校長 山田 裕之

現在、校長室の入口には、右の言葉が掲示してあります。これは、2学期の始業式で子どもたちに話した内容です。当校にとって「バランス」という言葉は、2学期のキーワードだと捉えています。2学期は、すべての教育活動をバランスよく進めることに、特に気を配らなければならない学期となるからです。

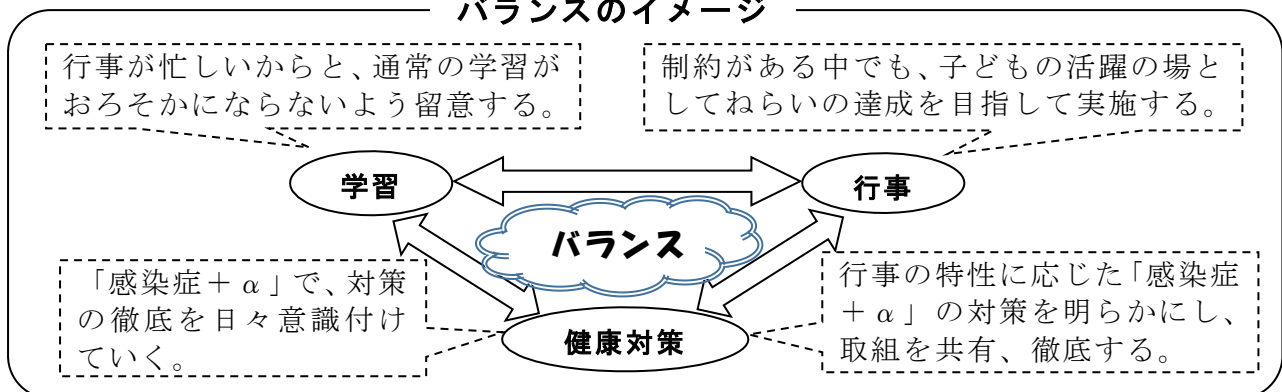
行事については、1学期から延期になったものがあります。しかし、すべてを2学期に詰め込んでしまえば、子どもたちがパンクしてしまいます。そこで、教育活動のバランスを取るため、中止や縮小した行事があります。実施する行事については、そのねらいが達成できるよう最大限努力します。

学習については、昨年度末からの休校による遅れは、1学期末までに完全に解消しました。また、1学期前半は中止していた校外学習や外部講師を招いての活動なども、ほぼ例年どおり実施できる状態に戻っています。このペースを守るためにも、行事とのバランスをとりながら授業時数を確保し、指導計画に添って進めていきます。

健康対策については、「感染症+α」で取り組む必要があります。8月末～9月前半に行った5年生の自然体験学習や全校秋遠足は、「感染症+熱中症」対策を重点に実施しました。学期の後半には「感染症+インフルエンザ」対策が必要になるかもしれません。いずれにしても、感染症を中心に、従来の季節性の対応も踏まえ、学習や行事の特性に合わせた対策をバランスよく実施していきます。



バランスのイメージ



そもそも学校教育は、知育・徳育・体育にバランスよく取り組むことが求められています。この究極の目的を達成するためにも、学習・行事・健康対策のバランスをしっかりと取りながら、2学期の教育活動を進めていきます。